

# ふくじゅじ 福聚寺の歴史



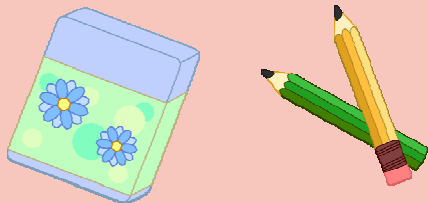
2011年11月10日、本堂から出火。本堂と庫裏計約350平方メートルが全焼。本堂にあった市指定文化財の鎌倉時代初期の仏像「延命地蔵菩薩」と江戸時代の「紙本著色熊野観心十界曼荼羅」が焼失。

## 新しくなった福聚寺

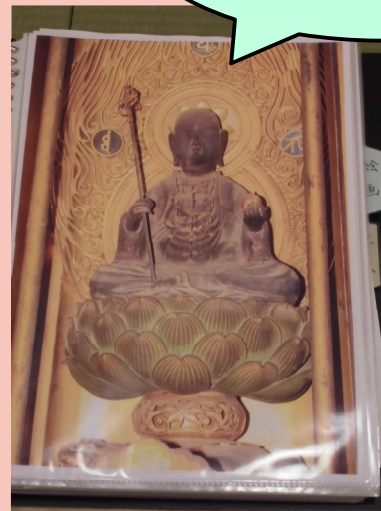
福聚寺は、1362年にできた天恩寺の流れをくんでおり、1555年に神宮寺から臨済宗妙心寺派のお寺、「福聚寺」として創立した。一番初めのおしょうさんの名前は南室薫禅師大和尚(なんしつくんぜんずだいおしょう)といった。



## 本堂の中です



棒を持って座っています。



分かりにくいけど、立ちひざです。



## 昔のお地蔵さん

## 今のお地蔵さん

2011年11月10日に起こった火災により焼けてしまった「延命地蔵菩薩」。現在は、6年前まで夏山で眠っていた室町時代のお地蔵さんをもらい、代わりにまつている。実は、お地蔵さんは、いつでもどこでも行けるように棒を持って立っている。でも、福聚寺にもともとあったお地蔵さんは、棒を持って座っていたので珍しかった。ちなみに、今のお地蔵さんは立ちひざをしている。